

## ふるさとキャリア教育の成果と課題

おおだて型学力 ～自立の気概と能力を備え、ふるさとの未来を切り拓く総合的人間力～

第8次学力向上の提言を受け、今年度のふるさとキャリア教育の取組がどうだったのか、主に学校訪問を通しての成果と課題等についてまとめてみました。



### 1 学校訪問(授業)の様子から

#### (1) 成 果

- ◇授業で身に付けた基礎的・基本的な学習を活用する場や活用で得た学びを次につなげる手立てが準備されている。また、体験だけにとどまらず、事前学習、事後学習がしっかりと行われている。【課題発見力、計画力】
- ◇教師が与える課題だけでなく、児童生徒と教師が共に課題を作り上げていこうとする授業が増えてきた。また、今学習していることが、日常生活に結び付いていることを意識させる授業も増えてきた。【課題発見力、状況把握力】
- ◇授業の始まりに、本時の流れやゴールを提示することで、見通しをもって学習できるように工夫している授業が見られた。【計画力】
- ◇一人学びの時間が確保され、自分で問題を解決しようとする気概を育てている。【実行力】
- ◇ペア学習やグループ学習を取り入れることで、児童生徒の発言の場を増やし、自分の考えを表現させる場を増やす授業が見られた。これまで、小学校では多かったが、中学校でも多く見られるようになってきた。【発信力、傾聴力】
- ◇県学習状況調査の質問紙の結果から、学習の振り返りを大事にしている先生が多いということが分かった。【課題発見力、創造力】
- ◇児童生徒の学ぶ姿勢に積極性が感じられる授業が多い。児童生徒の顔があがり、手があがり、声があがる授業がたくさん見られた。【主体性、規律性】
- ◇どの児童生徒にも学びを保障するために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れたり、特別教育支援員を適切に活用したりする授業が増えてきている。児童生徒の作品へのコメントも教師からのコメント、児童生徒同士のコメントなど、一人一人を大事にしようとする意図が感じられる。【柔軟力、ストレスコントロール力】

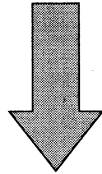
#### (2) 課 題

- ◆児童生徒同士の発表をつないでいるが、話合いが、並列的な発表になっているので、さらに、比較したり深めたりする手立てを考えていきたい。【働きかけ力、柔軟力】
- ◆児童生徒を活躍させた方がよい場面で、教師主導の授業がまだ見られる。【主体性】

\* 【 】は社会人基礎力に関連性のあると思われる能力

### (3) 来年度に向けて

- 学習の振り返りは、成果として記述したが、時間切れになってしまう授業も見られたため、時間をしっかりと確保できるように計画したい。また、どのような振り返りをしていくのかを社会人基礎力の能力と関連させながら書かせたり、発表させたりしたい。
- 児童生徒同士で話し合いをさせるときは教師のコーディネート力が重要になる。テクニックも大事だが、ねらいの明確化や児童生徒がどのような発言をするのかを十分に予想し、コーディネートしたい。教科や学年、ベテラン、若手の枠を取り払い、教師同士が優れた点を学ぶ姿勢をもちたい。
- 地域の教育資源を活用した学習活動が増えてきているので、今後とも継続すると共により充実した学びとなるように少しずつ進化させたい。



児童生徒の変化・変容は、どうだったのかな？



## 2 児童生徒の姿から(取組によって、ちゃんと力がついているかどうかの視点で)

### (1) 成 果

- ◇ 学校の廊下で会ったときのあいさつが気持ちよい。(特に中学生) 職員室への出入りなどでもはきはきとした声が聞こえる。校外を歩いているときも、あいさつの声が多く聞こえる。
- ◇ 子どもサミットの様子から、小学生も中学生も積極的に手を挙げて意見を述べる児童生徒が多く、根拠もしっかりと述べている。(話す内容が一文で終わっていない。) また、質問されても自分の思いや考えを物怖じせず述べる児童生徒が多くなってきている。グループ協議では中学生がリードしながら仲良く話し合いをすることができた。
- ◇ 他の行事でも、自分の考えをしっかりと述べる児童生徒が多い。会場の準備や片付けも進んで行っている。校内では、教室のロッカー、下足等の整理整頓が行き届いている。
- ◇ 子どもハローワークに参加している子どもたちが、積極的に働いたり、真剣に話を聞いたりする姿勢が見られた。体験を通して、働くことの喜びやたいへんさも学んでいる。感想用紙にも自分の思いをたくさん綴っている。

### (2) 来年度に向けて

- すべての児童生徒が自分の思いや考えをしっかりと伝えられているわけではないと思うので、できるだけ考えや思いを伝えることができる児童生徒を増していくとともに、自分の思いが伝えられない児童生徒を温かく包み込む雰囲気づくりや間違いを冷やかさない等の相手を思いやる気持ちをさらに育てていきたい。
- 県学習状況調査の結果は、ほとんどの学年で県平均を上回っていて、良好。細かく見ると、正答率に大きな差が見られる学校、教科がある。児童生徒の実態にもよるところも大きいと思うが、教科の正答率、質問紙についてしっかりと分析をし、今後の指導、授業改善に役立てたい。
- 学校で学んでいることを、校内外で生かせるように、今後とも積極的に、地域のもの、人、こと、と関わらせていきたい。
- 悩みを抱える児童生徒、保護者もたくさんいると思うので、相談機関等を活用して、どこかにつながりをもてるようにしたい。
- 25年後には、保護者となる児童生徒も多いので、子育てに喜びや責任がもてるような指導、言葉かけを行っていきたい。

\* 先生方の指導のおかげで、大館市の児童生徒は、着実に力をつけてきています。

**「将来の大館を支える人財となるよう」  
「絶対に一人も置いていかないという気迫と姿勢で」**

今後とも、どうぞ、よろしく申し上げます。